

かがやき

39

令和6年
4月1日発行



提供：石狩写真クラブ（恋人の聖地より）

目次

会長所感、50周年記念式典	1
各種表彰	2
石狩市民文化祭、文芸	3
俳句コンテスト、文芸	4
管内文化団体協議会事業、フォーラム、上方落語の会	5
文化講座	6
文化協会助成事業	7
文化協会構成団体名簿	8
年間行事予定	裏表紙



所感

会長 富木須磨子

楽、文芸、美術、生活文化、郷土芸能と多岐に渡り、活発な活動を繰り広げています。十一月には記念事業を予定しています。創立時において、ご苦労された関係者の皆さんの功績に感謝し、

今後の石狩市における文化芸術振興に向けた弾みとする記念事業にしたいと考えています。
令和四年十一月、石狩市長、石狩市教育委員会教育長、石狩市議会議長へ「芸術文化ホール」建設を要望いたしました。令和五年六月に「建設実現を目指す市民フォーラム」、十二月には「市内中学校の音楽・舞台指導教諭のための意見交換会」を開催いたしました。

た。こうした取り組みを通じて、市民総意で芸術文化ホール建設の実現化を目指す機運醸成を図って参りたいと考えているところです。依然として建設に向けたハードルは高くそびえ立ち、五十年前から石狩における芸術文化活動の発展を夢見てこられた先達の足跡を再確認し、理想の環境づくりを目指していきたいと思っております。

雪の多い冬でした。その雪も融け、ようやく日本中で、桜の開花情報と共に春の訪れを感じ、さらに本州以南では酷暑のニュースも頻繁に登場するようになりました。こうした季節の変化をしっかりと感じる事ができる北海道の四季の素晴らしさを体感できることに幸せを感じているところです。

石狩市文化協会は今年五十周年を迎えます。昭和三十年十一月、第一回石狩



町文化祭が開催されました。戦後十年経過し、町民の間には、文化活動が待望されていた中、町内の中学校児童生徒の図画と書道、さらに町内で活動していた生花や写真サークルの作品展と町内児童生徒による「音楽のつどい」を行いました。この第一回石狩町文化祭が開催されてから十九年経過した昭和四十九年四月に石狩町文化協会が誕生しました。当初は二十団体二百八十五名の会員でスタートし、現在は、六十九団体六百七十六名の会員となりました。途中、石狩町から石狩市への昇格、厚田村や浜益村との合併などの節目を経て、平成二十二年七月、NPO法人化し、現在に至っています。会員のジャンルは、詩吟、舞踊、和楽、洋舞、洋

本年度の文化協会鑑賞事業は、『札幌ジャズアンビシャス公演』を開催します。開催日時は令和六年八月十八日(日)午後一時半開演、花川北コミセンで行います。

【札幌ジャズアンビシャス】二〇一二年に結成。札幌を拠点に活動するプロミュージシャンによるフル編成ビッグバンド。初期は渡辺貞夫、二〇一四年からはデビッド・マシューズを音楽監督に迎え、定期演奏会を

行い、絵画・彫刻・ヒップホップ・バレエ・クラシックなど、ほかのアート分野との積極的なコラボレーションにより、表現の可能性を広げている。二〇二一年結成十年目を迎え、札幌文化芸術劇場で開催されるトップミュージシャンによる日替わりライブ「シアタージャズライブ」への出演を果たす。

【音楽監督デビッド・マシューズ】アメリカ出身。ポール・サイモンやジョージ・ベンスンの作曲でグラミー賞を受賞。幅広いアレンジが得意でマンハッタン・ジャズ・クインテットでの活動により人気を博す。二〇一三年から日本在住。翌年から札幌ジャズアンビシャスの音楽監督。札幌ジュニアジャズスクールへの楽曲提供や、道内各地での若手ミュージシ

創立50周年記念鑑賞事業 札幌ジャズアンビシャス石狩公演



石狩市表彰「教育功労表彰」 石狩憩吟社

令和五年十一月十七日（金）、午前十一時から、石狩市議会議場で、令和五年石狩市表彰式が開催されました。教育功労表彰では、当協会「石狩憩吟社（代表：棚橋文男）」様が受賞されました。

教育功労章を受賞された石狩憩吟社は、昭和五十七年「老人クラブ憩会」の会員有志で、文化活動の一端



大きく寄与してきた功績が認められたものです。

石狩憩吟社

石狩市教育委員会表彰「教育功労章」 浜益小劇場



浜益小劇場

令和六年一月二十三日（火）午後二時から、石狩

市議会議場で、令和五年度石狩市教育委員会表彰式が開催されました。当協会からは「浜益小劇場（代表：佐々木茂雄）」様が教育功労章を受賞されました。教育功労章を受賞された浜益小劇場は、一九九九年の創立以来、「現在・過去・未来を感動でつなぐ」を理念とし、地域を元気に、そして一人でも多くの人たちと

繋がりたい、という思いで演劇活動をされています。二〇〇二年、総務省全国過疎地域自立促進連盟会長賞、二〇一一年文化協会文化奨励賞を受賞。

代表：佐々木茂雄氏談「演劇の題材は、浜益小学校と小樽を結んでいた連絡船、群別地区にあった自動車学校など、ふるさと浜益にまつわる史実をメインとし、埋もれがちな地域の歴史に光を当ててきました。合併後は石狩、厚田地域の史実も取り入れるよう取り組んでいます」

石狩市文化協会文化奨励賞 パステルグループ「ソラリス」

令和五年度石狩市文化協会文化奨励賞に「パステルグループ ソラリス（代表：大谷有紀子）」様が受賞されました。

当協会文化奨励賞は、会員の中から、入会后、十年以上にわたり日常の団体活動を通して芸術文化の普及発展に貢献し、その業績が顕著であると認められる団体



パステルグループ「ソラリス」

に贈られるものです。パステルグループ・ソラリスは平成二十四年創立、文化協会へは平成二十五年から入会され、地域における文化芸術活動の中心として活動されています。

代表：大谷有紀子様談「写真は基本とするパステル画のため、完成までは時間がかかりますが、完成時の嬉しさは大きいです。日々楽しく、作品のレベルアップを目指して、頑張っています。」

石狩管内文化団体協議会表彰文化奨励賞 石狩憩吟社

令和五年度石狩管内文化団体協議会文化奨励賞に「石狩憩吟社（代表：棚橋文男）」様が受賞されました。

同協議会文化奨励賞は、石狩管内七市町村の文化協会が、会員の中から、優れた文化活動を通じて、石狩管内または市町村の活動の中で、文化の向上に貢献している個人または団体に贈られるも



石狩憩吟社

のです。石狩憩吟社は、昭和五十七年創立以降、毎月一回の定期活動を行い、気取らず自由に言葉を選びながら俳句創作活動を続けています。さらに、市民文化祭や石狩管内文化団体協議会郷土芸術祭展示部門等に積極的に参加し、石狩市内外の文化芸術活動の振興に寄与しています。二〇〇五年石狩市文化協会文化奨励賞、二〇一六年石狩市教育委員会教育功労章、二〇二三年石狩市教育文化功労章を受章されるなどの功績が認められ、この度の受賞となったものです。

第六十八回 (令和五年度) 石狩市民文化祭

令和五年度市民文化祭は、コロナ感染症の行動制限がなくなり、日常生活への復活の兆しが見えてきました。舞台部門については、当初の計画どおり十月十四日(土)と十月十五日(日)の二日間、花川北コ

ミセンを会場として開催いたしました。舞台実績は、出演団体数四十団体、出演者数三百四十一名、来場者数七百五十名でした。なお、市民文化祭の展示部門は、花川南コミセンにおいて十月二十日(金)から二十二

日(日)の三日間において開催いたしました。展示実績は、三日間合計で三十二団体、出展者数三百二十八名、来場者数五百十二名でした。また、「クリスマスコンサート二〇二二」について

は、十二月十日(日)に花川北コミユニティセンターを会場として開催することができました。開催実績は、出演団体六団体(一般・高校・中学)、来場者数は約四百二十名でした。



舞台部門 (花川北コミセン)



舞台部門 (花川北コミセン)



展示部門 (花川南コミセン)

石狩文芸同好会

◇短歌◇

木枯しの吹く通学路子供らの元気な声が今朝も聞こえる
釣本 峰雄

冬の朝馬ソリに乗って谷すべり。ケンちゃん、富ちゃんわたしとおじと
山内 幸子

鮮やかなマリーゴールド抜く前にごめん抜くねと心で詫びる
八田 篤子

◇俳句◇

初日の出ネバールの丘人だかり
樋口 博

林立の洋上風車秋日澄む
笹谷 雅子

鈴の音や父の馬轆で登下校
山根 利子

秋の夜の心ゆくまで墨をすり
田附 和子

凧に妻への便りことつむ
佐藤 勝彦

六月の風通りゆく誕生日
津川 淳子

マフラーの解れは猫の悪戯か
野呂 里美

葦の原香になびく春疾風
鈴木 昇

石の花俳句会

◇俳句◇

ガス燈のしづくとなりて春の雪
赤繁 大河

血糖値過ぎるも二つ桜餅
西口 悦子

草茂る友と遊びしグラウンド
下岡 憲充

防風を皆で採りたる幼き日
高縁恵美子

夕暮れに落つる桜の旅情かな
鈴木 久士

黄落や身辺整理おこたらず
鈴木 雄三

開墾の考妣の墓や草の花
中矢 真弓

春かぜの吸うては吐いて手風琴
畑中 貴子

俳句のまち ~いしかり~

第19回 俳句コンテスト

天位は 千葉県 丸山 直人様

天位作品

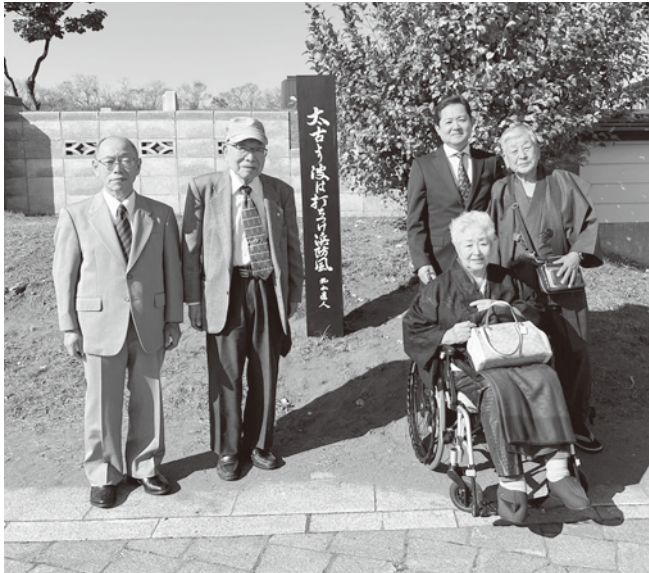
太古より波は打ちつけ浜防風

俳句のまちいしかり第十九回俳句コンテスト、第十八回こども俳句コンテストが行われました。今回のコンテストには一般成人の部に百四十七名、二百九十三作品、市内全小中学校から二千五十九名が応募されました。

八月に開催された選考会において、一般成人の部最高位「天位」には、千葉県丸山直人様の「太古より波は打ちつけ浜防風」が選ばれました。一般成人の部で

は、天位の丸山様を始め、地位五点、人位十五点、佳作二十点が選ばれました。また、こどもの部では、小学生優秀賞十一点、佳作二十点、努力賞十一点、同じく中学生優秀賞十一点、佳作二十点、努力賞十一点が選ばれました。

授与式には、コロナ禍で授与式が中止された第十六回俳句コンテストの天位坂本直子様も同席されました。坂本様は丸山様の叔母様で、三年前幻となった天位授与式を、甥の丸山様とともに出席されていました。



石狩憩吟社

◇俳句◇

海明けや青一面のオホーツク
車窓より近く離れぬ冬の月
折紙の雛人形に長まつげ
亀鳴くや陽はゆつくりと傾きぬ

棚橋 文男
五十嵐満行
木村 峰子
山根 利子

石狩かしわ俳句会

◇俳句◇

思い出も切り離しゆく年の暮れ
夕端居妙に角張る爪を切る
定型はガラスの器花の冷え
恐竜が歩いた大地水を打つ
みどりの日老木ひそかに芽を出して
秋風や石狩浜の無事の像
しみじみとあの夏の日の分岐点
ところてん箸からこぼる五七五
八十歳すつきり割れぬ寒卵
浜防風ルーツに刺さる小骨かな
着膨れし流浪の民の帰路遙か
黒岳の闇にケルンの天の川
新米やこの日新しき箸を出し
夏来たる歩道にひびく鳴子かな
限りなき欲望の果て猛暑かな
読み返す育児ノートや春の昼
黄砂降る中に夜景の沈みゆく
草いきれ左右に揺れる猫車
献体の骨は真白や天の川

安藤 美紀
石川 治
石川美智子
今堀 冷子
大崎 道子
小笠原多美子
奥村真知子
木越 栄子
木越 宗幸
木南 琴
土岐 陽子
須藤みや子
林 迪子
原田 京子
原田 昌克
山本千津子
和佐 尚子
渡辺愛美子
渡辺 則子

石狩管内文化団体協議会事業

◆石狩管内文芸交流大会

第四十三回石狩管内文芸交流大会は、七月二十二日、北広島市（北広島市芸術文化ホール）で開催されました。当協会からは「石の花



コル・ソナーレ

俳句会」から鈴木雄三さん、畑中貴子さん、中矢真弓さんが参加されました。

十月十三日から十七日まで、かである二・七にて全道シルバー作品展が行われ、当協会から短詩型の部に「石の花俳句会」から赤繁忠弘さん、畑中貴子さん、鈴木雄三さん、中谷真弓さん、鈴木久士さんが出展されました。

◆石狩管内郷土芸術祭 展示部門 B

十一月十一日、十二日には新篠津村（新篠津村自治センター）で、第四十七回道民芸術祭兼第五十回石狩



石狩フラ&ウクレレパーフォーマンス

管内郷土芸術祭展示部門 B が行われ、当協会から書道部門に「書の研究石狩市書道協会」十名、「文芸部門

に「石の花俳句会」から八名、「石狩憩吟社」から五名、石狩かしわ俳句会から十名が出展されました。

◆石狩管内郷土芸術祭 舞台部門

十一月二十三日、北広島市（北広島市芸術文化ホール）で第四十七回道民芸術祭兼第五十回石狩管内郷土芸術祭舞台部門が開催されました。開演に先立ち、令和五年度石狩管内文化団体



石狩紅葉山ハーモニックサークル

協議会表彰が行われ、石狩市文化協会からは石狩憩吟社が文化奨励賞を受賞されました。会場では、石狩管内七市町村の文化団体による舞台発表が行われました。出演者は十五団体から百七十三名が出演。石狩市文化協会からは、コル・ソナーレ、石狩フラ&ウクレレパーフォーマンス、石狩紅葉山ハーモニックサークルが出演されました。

石狩市芸術文化ホール（仮称）の建設実現を目指す市民フォーラム

石狩市文化協会は令和五年六月十一日（日）午後二時から、花川南コミセンで、石狩市芸術文化ホール（仮称）の建設実現を目指す市民フォーラムを開催しました。北海道演劇財団理事長の斎藤歩氏が、ホールの在

り方に関する基調講演を行いました。その後、市内在住のオペラ歌手今野博之氏対談し、「ホールに文化芸術活動以外でも人が集まる機能が必要」との意見を述べられました。会場には石狩市内外から

五十人を超える参加者が集まりました。また、十二月十五日（金）午後七時から、花川南コミセンで、市内「中学高校音楽・舞台指導教諭のための意見交換会」を開催しました。教諭からは、子どもたちの文化教育面から設備の充実したホールを望む声が上がりました。

令和五年度石狩市文化協会主催鑑賞事業 上方落語の会 平成開進亭

令和五年八月二十七日（日）午後一時半から、花川北コミセンで、石狩市文化協会主催鑑賞事業市民寄席「平成開進亭」を開催し

ました。公演は、札幌在住の上方落語家である桂枝光師匠と大阪から招いた桂米團治師匠との二人会。桂米團治師



平成開進亭 桂枝光



平成開進亭 桂米團治

匠が「替り目」「七段目」、桂枝光師匠が「色事根問」「雁風呂」を演じていただきました。桂枝光師匠は、五代目桂文枝に入門して小つづ、平成八年八月に二代目桂枝光を襲名。五代目文枝の十八番「紙屑屋」、そして「立ち切れ線香」を唯一継承している弟子です。また、桂米團治師匠は、大学在学中に父である桂米朝に入門して、二代目桂小米朝、平成二十年十月四日に五代目桂米團治を襲名されています。当日の寄席は、百三十九名の観客が、四席の落語を堪能されました。

石狩市文化協会主催

文化講座 六講座開催

の参加でした。

●手づくり絵本

手づくりの小さな絵本を作る講座です。

講師は、手づくり絵本HOME代表本田美世氏。六月二十三日、七月七日の二回開催。延八名の参加でした。

●石狩河口橋音頭

先人の思い出がある「石狩河口橋音頭」の踊り

の体験講座です。講師は泉流恵千翔会富木須磨子氏（石狩市文化協会会長）。七月十三日、二十七日に開催。二日間で十六名の参加でした。

●「ヒンメリ」作り

フィンランドの伝統装飾品を作る講座です。

講師は、dangling代表佐藤美紗氏。七月二十一日に開催。十五名の参加でし

た。

●俳句教室

五・七・五の世界を体験する講座です。講師は、松王かをり氏。八月八日、十五日の二回開催。延二十名の参加でした。

参加でした。

●クラフトバンドで作るダストBOX

古紙を再生した紙バンドを材料として、ダストBOXを作る講座です。講師

は、クラフトバンドエコロジー協会認定講師三ツ野美穂氏。九月二十六日に開催。十一名の参加でした。

●遊び心いっぱいの筆ペン教室

SNS受けする可愛い字を学習する講座です。講師は、己書札幌由美道場代表安井由美子氏。十二月十一日、十八日の二回開催。延十八名の参加でした。

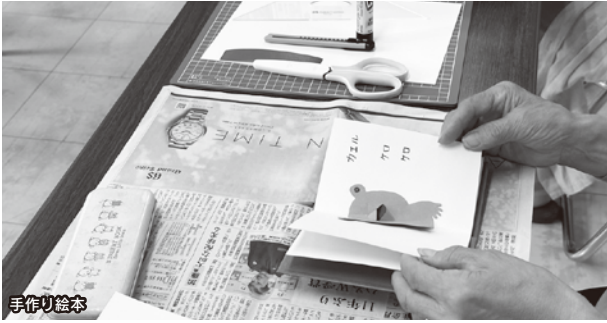
●遊び心いっぱいの筆ペン教室

体

延十八名の参加でした。



歌声ひろば



手作り絵本



石狩河口橋音頭



「ヒンメリ」作り



俳句教室



遊び心いっぱいの筆ペン教室



クラフトバンドで作るダストBOX

文化協会助成事業



令和五年五月三日（水）、劇団『碧い海』第三回札幌公演がシアターZOOで、令和五年十一月十日（土）、アートウォームを会場に、第二十五回定期公演が開催されました。

代表・飯尾 亜紀仁さん談「札幌公演は、団員のコロナ感染により年度を改めて再挑戦。六十名を超える観客に会場いただきました。定期公演（石狩）は新年度に三名の新入団員を迎えて九名で活動してきた成果



を発表する公演となりました。百十八名の観客に会場いただき、団員一同感謝に堪えません。二年目の団員も多いため、あまり緊張もせずに「楽しくのびのび」と公演していました。「楽しめる」ことは、子供たちにとつての最高の経験になったことと思います。文化協会の御協賛ありがとうございました。」



令和四年八月二日（火）から七日（日）、石狩市民図書館を会場に、石狩写真クラブ第九十二回写真展が開催されました。

代表・進藤 五郎さん談「私たちは、令和六年、設立四十周年を迎えます。この間、諸先輩の苦勞と研鑽、また、関係各位のご理解とご支援に、深く感謝申し上げます。」

令和五年度、石狩市文化協会文化芸術振興助成金を



受け、八月の市民図書館、十一月の花川南コミセンでの写真展を開催。他に、花川北コミセンや市内郵便局において写真展を行っています。

現在、十六名で活動しています。私たちの第一目標は、健康で写真を楽しむこと。毎月公民館で勉強会を実施していますので、カメラ持参のうえご参加ください。」



令和六年三月二十四日（日）、学び交流センター多

目的ホールで、第十九回定期演奏会を開催しました。新型コロナウイルスが五類になったため、ようやく対策を取らない通常の演奏会ができました。

定演の目玉として今回も第二部に、本団の斉藤みゆきによるメゾソプラノ独唱のステージを設けました。天候にも恵まれ、ありがた



いことに当日は会場収容人数の限界に近い八十名を超

わ俳句会（代表・石川美智子さん）が、合同句集「かしわ」を発行されました。A五判、三十六ページの冊子を七十冊制作。

同会は、一年間の活動の

える来場者があり、コンパクトな演奏会を楽しんでいただきました。

今年度は、第四十期生を募集する記念の年です。歌の好きな仲間がいっぱい集まればと期待しています。（石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団 代表 根本壽夫）



令和五年十一月三日（金）から五日（日）まで、アートウォームを会場に、石狩模型人二〇二三が開催されました。

モデラーズクラブ石狩・中村和真さん談「会場のアートウォームには五百人を超えるお客様が来場されま



した。模型展示は去年以上の規模となり、道内外から多くのモデラーの皆様が参加され、大盛況となりました。また、宣伝活動に協力していただいた皆様の尽力で、去年以上に様々な方から注目されていることを実感するイベントとなりました。来場された皆様、協力していただいた皆様にご利用いただいた皆様にお礼申し上げます。」



令和五年五月、石狩かしわ俳句会（代表・石川美智子さん）が、合同句集「かしわ」を発行されました。

「文化芸術振興事業助成金交付」事業を活用し、素晴

らしい句集を発行されました。



特定非営利活動法人石狩市文化協会構成団体一覧

ブロック名	部門名	団体名	会員数	代表者	電話番号	創立年	入会年	
邦楽・邦舞部	詩吟	聖月流日本吟剣詩舞道会石狩支部	5	高橋 幸子	74-3895	1983	1983	
		石狩嘗吟会	3	五十嵐 満行	73-1648	1973	1974	
		札幌岳風会中央朗吟会花川道場	4	小野 寺弘子	74-6089	2015	2023	
	舞踊	東流若樹会	1	鳥居 千愛	73-5362	1983	1985	
		泉流恵千翔会	9	時崎 麗子	090-8639-7366	1984	1992	
	和楽	栄豊会	7	木村 峰子	74-2588	1958	1974	
		琴音会	10	永塚 節子	73-4206	2016	2017	
		大正琴サークル星音	6	山腰 亜希	090-2054-0318	2007	2022	
	洋楽・洋舞部	洋舞	石狩レクダンスクラブ	13	石山 枝津子	73-1741	2004	2007
Happly			2	三輪 姫乃	080-2195-4276	2017	2023	
カウルオカラージャパン石狩			9	柿原 美穂	080-1975-9933	2003	2023	
さくらんぼ			2	藤田 正子	73-3956	2013	2023	
洋楽		石狩混声合唱団	25	池田 寿男	73-1743	1996	1998	
		アルバ・コラーレ	15	福中 信子	72-0347	1982	1982	
		コル・ソナーレ	14	藤江 幸子	090-8373-8005	1992	1995	
		石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団	14	根本 壽夫	72-5533	1984	1986	
		石狩市民吹奏楽団	27	松田 直貴	070-8545-5843	2015	2017	
		カラオケサークル「花音」	43	松浦 則夫	72-4146	2017	2017	
		石狩紅葉山ハーモニカ・サークル	9	深浦 俊才	62-3588	2006	2019	
		Arts@Local	2	今野 くる美	73-3836	2020	2021	
		石狩南米音楽クラブ	5	菅野 厚	090-8373-0934	2018	2022	
		アコーディオンサークル	3	戎屋 健一	62-5676	2016	2022	
		フラ&ウクレレパーアニウル	4	高山 裕恵	72-0623	2017	2022	
		名和泰広	1	名和 泰広	080-6090-0393		2022	
		コーラス Kebon	9	足立 紀美子	080-5585-7922		2022	
		ミモザの会	9	山根 利子	74-6040	2020	2023	
		オカリナサークルアンダンテ	7	塚本 靖恵	080-6081-6225	2022	2023	
		マザーリーフ・ゴスペルクワイア	15	神 由紀	74-9246	2012	2022	
		芝 亜希	1	芝 亜希	080-1862-7858	2022	2023	
		グランミックス	4	庵 日登美	080-4731-1337	2018	2023	
		石狩ピアノサークル	2	飯尾 麻友	070-5066-5780	2022	2023	
		文芸部	石狩懇吟社	5	棚橋 文男	73-4128	1982	1987
			石の花俳句会	8	赤繁 忠弘	090-2057-9304	1975	1999
			石狩かしわ俳句会	20	石川 美智子	74-7401	2017	2019
		美術部	書の研究石狩市書道協会	25	浅野 玉城	62-3651	1987	1988
水彩画ノースポール	5		今堀 冷子	74-6139	1991	1998		
夢、香苑	10		高木 亮子	68-9212	2007	2007		
パステルグループ「ソラリス」	9		大谷 美穂子	74-0935	2012	2013		
防風林	5		中野 明子	090-5950-8527	2017	2018		
水彩サークルクリムソン	5		湯藤 美恵子	74-4423	1993	2022		
デッサンサークル「モチーフ」	10		金子 俊一	090-1384-3215	2002	2023		
水彩サークルせびあ	11		大沢 俊勝	73-2981		2024		
石狩アマチュア無線クラブ	20		寺門 雄大	77-7036	1979	1979		
石狩写真クラブ	13		進藤 五郎	73-7738	1984	2012		
生活文化部	茶道サークル清風会	7	二上 朋子	72-0330	2014	2014		
	トリム・フォトクラブ	18	山崎 昭弘	070-5069-3194	2013	2014		
	茶道裏千家うたかたの会	7	河崎 美智子	74-7086	1980	2014		
	陶芸サークル 陶華	5	下田 直美	73-4983	1989	2018		
	工房ひまわり	1	笹嶋 スミ子	080-6080-3014	2005	2021		
	ステーラボ花畔	2	池田 幸夫	090-2870-4137	2018	2018		
	フラワーアレンジメントサークル Floralties	10	岡田 美樹	080-1518-2279		2022		
	HOHOEMI	6	竹田 美喜子	090-9758-0510	2015	2023		
	シニアパソコンクラブ	7	田畑 幸江	73-8368	2017	2023		
	モデラーズクラブ石狩	21	田口 昇	090-4028-2751	2021	2023		
	石狩落語・講談研究会	2	松田 美香	090-8274-1856	2022	2023		
	郷土芸能部	石狩紅太鼓	12	佐々木さとみ	72-5576	1997	1998	
		石狩太鼓同好会	30	中村 武史	66-3527	1979	1980	
石狩越後盆踊り保存会		22	堀 功	62-3550	1984	1989		
石狩大谷子供劇団碧い海		10	飯尾 亜紀仁	62-3013	1995	1998		
厚田部	望来獅子舞保存会	30	三枝 豊	090-2072-9082	1970	1970		
	浜益カラオケ愛好会	11	渡辺 稔	090-8274-0229	1979	1979		
	浜益豊漁太鼓	16	中野 雅人	79-2650	2000	2006		
浜益部	浜益小劇場	19	佐々木 茂雄	090-6878-1156	1999	2001		
	賛助会員	石狩国際交流協会	1	佐藤 眞彰	62-9200		2018	
		石狩市社会福祉協議会	1	澤田 茂明	72-8181		2018	
ニチドク事務機(株)		1	中原 久	72-5551		2019		
(株)毛利産業		1	高坂 龍輔	74-4366		2021		

合計 69 団体 673 名

インフォメーション (2024.4月～2025.3月)

特定非営利活動法人石狩市文化協会及び構成団体年間活動予定

開催時期	行事名	出演構成団体	会場
4月	泉流チャリティ公演	泉流恵千翔会	札幌共済ホール
4月	第19回俳句コンテスト作品募集	俳句のまち～いしかり～実行委員会	
5月	市役所ロビー展	防風林	石狩市役所
5月	市役所ロビーコンサート	オカリナサークル アンダンテ	石狩市役所
5月	俳句吟行	石の花俳句会	
5月	通常総会	石狩市文化協会	学び交流センター
6月	全道大会	聖月流石狩支部	千歳市
6月	常夏アロハ祭り	カウルオカラージャパン石狩教室	札幌ファクトリー
6月	市役所ロビーコンサート	石狩紅葉山ハーモニカサークル	石狩市役所
6月	市役所ロビーコンサート	石狩市民吹奏楽団	石狩市役所
6月	常夏アロハ祭り	フラ&ウクレレパーアニウル	札幌ファクトリー
7月	七夕競書大会	夢、香苑	
7月	市役所ロビー展	水彩サークル クリムソン	石狩市役所
7月	移動運用	石狩アマチュア無線クラブ	美登位
8月	写真展	石狩写真クラブ	石狩市民図書館
8月	鑑賞事業 (札幌ジャズアンビシャス)	石狩市文化協会	花川北コミセン
8月	市役所ロビーコンサート	アルバ・コラーレ	石狩市役所
9月	作品展	水彩画ノースポール	
9月	第9回作品展	パステルグループ ソラリス	
9月	市役所ロビーコンサート	マザーリーフ・ゴスペル・クワイア	石狩市役所
10月	大正琴フェスティバル	大正琴サークル星音	
10月	定期演奏会	石狩市民吹奏楽団	花川北コミセン
10月	第69回石狩市民文化祭	石狩市民文化祭実行委員会	花川北・南コミセン
10月	俳句のまち～いしかり～俳句コンテスト表彰式	俳句のまち～いしかり～実行委員会	楽山居
11月	第22回定期公演	浜益小劇場	浜益
11月	発表会	グランミックス	
11月	大正琴との合同演奏会	石狩紅太鼓	
11月	写真展	石狩写真クラブ	石狩市民図書館
12月	第26回公演	石狩大谷子供劇団『碧い海』	アートウォーム
12月	市役所ロビー展	デッサンサークル モチーフ	石狩市役所
12月	クリスマスコンサート	石狩市民文化祭実行委員会	花川北コミセン
1月	初釜	茶道サークル清風会	
1月	新春釜会	うたかたの会	
1月	第39回北海道少年少女合唱連盟合同演奏会	石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団	札幌市民ホール
3月	第5回札幌公演	石狩大谷子供劇団『碧い海』	スタジオシアターZOO
3月	第20回定期演奏会	石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団	学び交流センター

